一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月24日

議 会 議 長 様

議席番号 7 番

議員氏名 大 橋 芳 久

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. アフターコロナを見据えて	<p>2年以上に及ぶ新型コロナウイルス感染症は様々な世代の活動に影響を与えてきた。しかし、最近では感染者数や重症者数などが減少傾向にあること、ワクチン接種が進んだこと、そして治療薬の開発や承認申請などがあったことなどにより、完全に収束したわけではないがアフターコロナを見据えた議論がようやく活発に行われるようになってきた。</p> <p>シニア世代や高齢者にとって、外に出て体を動かし、人と会い、話し、刺激を受けることは健康や生きがいの向上に寄与し、ひいては町の医療費などの削減にもつながることになるが、コロナ禍において、高齢者サロンや公共施設の利用が制限され、シニア世代や高齢者世代は日常行っていたサークル活動などを満足に行うことができず、健康づくりの中断を余儀なくされてきた。</p> <p>アフターコロナにおいて、コロナ前に行っていた日常を取り戻し活動が再開できれば良いが、一度中断した活動を再開することは大変で、さらにコロナ禍で在宅がちになった方々の気持ちや体を外に向けるためにも、今まで以上に生涯教育、文化活動、サークル活動、サロン活動、シルバー人材センターなどでの就業促進などに取り組む必要があると考える。</p> <p>そこで、これらの活動を再開するにあたり、今後どのように取り組んでいく考えなのか伺う。</p>	町長 副町長 教育長 住民協働課長 社会教育課長 高齢介護課長

5月24日 午前・午後 1時00分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
<p>2. 保育施設・教育施設でのマスク着用（新型コロナウイルス感染症対策）の是非は</p>	<p>保育園、幼稚園、小学校などでの新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用を推奨するケースが多い。杉戸町立小・中学校新型コロナウイルス感染症対策マニュアルに基づいた措置であると思うが、中には屋外の部活動や体育の授業でもマスクの着用を求められたという児童・生徒や保護者の声も届いている。</p> <p>また、そのような中で、幼児・園児や子どもの情操教育上、そして、きちんとマスクが着用できない年齢でのマスクの着用が、感染拡大予防にどれほどの効果があるのかの確固たるエビデンスもないこと、さらに、オミクロン株の特性を踏まえたうえで、熱中症への対策などからもマスクの着用については是非がある。</p> <p>そこで、保育施設・教育施設でのマスク着用について、当局の見解を求める。</p>	<p>町長 副町長 教育長 学校教育課長 子育て支援課長</p>
<p>3. 専門的な知識や技術をどのように習得するのか</p>	<p>町は本年4月の組織再編で、「デジタル推進室」を新たに設置し、くらし安全課を「危機管理課」に改称した。</p> <p>デジタル推進室の職務の遂行にはICTの知識が必要であり、危機管理課には住民の生命と財産を守るという職責がある。それぞれの分野は専門の知識や技術が必要で、その知識や技術が最先端なものであればあるほど町民の利益になると考える。</p> <p>そこで、どのようにして今後これらの室・課の専門的な知識や技術の習得を図っていくのか伺う。</p>	<p>町長 副町長 総務課長 デジタル推進室長 危機管理課長</p>